

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 13日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県橿原市飯高町69-3

氏 名 株式会社中川組
代表取締役 中川 茂宣

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0744-25-8787

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社中川組
事業場の所在地	奈良県橿原市飯高町69-3
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 465,000千円
③ 従業員数	52人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(解体工事) がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化。 混合物→最終処分業者に委託し、埋立処分。 (建設工事) がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化。 廃プラスチック類→再生処理業者に委託し、RPF燃料として再資源化。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

社長（廃棄物処理統括責任者）

↓
各部署部長（産業廃棄物管理担当部長）↓
工事現場管理責任者（産業廃棄物管理責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	排 出 量	5864.628 t	126.22 t	80.85 t	97.62 t
	(これまでに実施した取組)				
	出来る限り、再生利用業者に処理委託を行い、最終処分量の減量化を図る。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	排 出 量	5500 t	100 t	70 t	90 t
	(今後実施する予定の取組)				
	工法の改善による産業廃棄物の減少				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、混合物はそれぞれに分別し、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、混合物はそれぞれに分別し、保管する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) 特に実施していない。					

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)					
特に実施していない。					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)					
特に実施していない。					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	全処理委託量	5864.628 t	126.22 t	80.85 t	97.62 t
	優良認定処理業者への処理委託量	44.27 t	21.68 t	80.28 t	14.23 t
	再生利用業者への処理委託量	5820.358 t	104.54 t	0.57 t	83.39 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)					
可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。					

		【目標】				
		産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
②計画	全処理委託量	5500 t	100 t	70 t	90 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	100 t	30 t	70 t	20 t	
	再生利用業者への処理委託量	5400 t	70 t	0.5 t	70 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	
	(今後実施する予定の取組)					
<p>優良認定処理業者を選定する。 委託先処理業者には定期的に実施確認を実施する。</p>						
※事務処理欄						

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 13日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県橿原市飯高町69-3

氏 名 株式会社中川組
代表取締役 中川 茂宣

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0744-25-8787

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社中川組
事業場の所在地	奈良県橿原市飯高町69-3
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 465,000千円
③ 従業員数	52人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(解体工事) がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化。 混合物→最終処分業者に委託し、埋立処分。 (建設工事) がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化。 廃プラスチック類→再生処理業者に委託し、RPF燃料として再資源化。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

社長（廃棄物処理統括責任者）

↓

各部署部長（産業廃棄物管理担当部長）

↓

工事現場管理責任者（産業廃棄物管理責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃プラスチック類	水銀使用製品産業廃棄物
	排出量	9.58 t	2.26 t	15.854 t	0.322 t
	(これまでに実施した取組)				
	出来る限り、再生利用業者に処理委託を行い、最終処分量の減量化を図る。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃プラスチック類	水銀使用製品産業廃棄物
	排出量	9 t	2 t	15 t	0.3 t
	(今後実施する予定の取組)				
	工法の改善による産業廃棄物の減少				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、混合物はそれぞれに分別し、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、混合物はそれぞれに分別し、保管する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃プラスチック類	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
(これまでに実施した取組) 特に実施していない。					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃プラスチック類	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃プラスチック類	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組) 特に実施していない。					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃プラスチック類	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	
(今後実施する予定の取組) 特に実施していない。					

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃プラスチック類	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)					
特に実施していない。					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃プラスチック類	水銀使用製品産業廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)					
特に実施していない。					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃プラスチック類	水銀使用製品産業廃棄物
	全処理委託量	9.58 t	2.26 t	15.854 t	0.322 t
優良認定処理業者への処理委託量	9.58 t	0.69 t	15.07 t	t	
再生利用業者への処理委託量	t	1.57 t	0.784 t	0.322 t	
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)					
可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。					

		【目標】				
		産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃プラスチック類	水銀使用製品産業廃棄物
②計画	全処理委託量	9 t	2 t	15 t	0.3 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	9 t	2 t	14.5 t	0.3 t	
	再生利用業者への処理委託量	t	t	0.5 t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	
	(今後実施する予定の取組)					
<p>優良認定処理業者を選定する。 委託先処理業者には定期的に実施確認を実施する。</p>						
※事務処理欄						

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 13日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県橿原市飯高町69-3

氏 名 株式会社中川組
代表取締役 中川 茂宣

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0744-25-8787

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

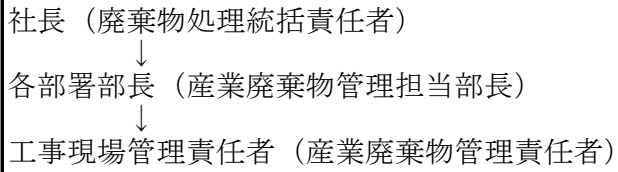
事業場の名称	株式会社中川組
事業場の所在地	奈良県橿原市飯高町69-3
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 465,000千円
③ 従業員数	52人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(解体工事) がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化。 混合物→最終処分業者に委託し、埋立処分。 (建設工事) がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化。 廃プラスチック類→再生処理業者に委託し、RPF燃料として再資源化。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	
	排 出 量	1.607 t	2.725 t	0.35 t	t
	(これまでに実施した取組) 出来る限り、再生利用業者に処理委託を行い、最終処分量の減量化を図る。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	
	排 出 量	1 t	2.5 t	0.2 t	t
	(今後実施する予定の取組) 工法の改善による産業廃棄物の減少				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、混合物はそれぞれに分別し、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、混合物はそれぞれに分別し、保管する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t
(これまでに実施した取組) 特に実施していない。					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) 特に実施していない。					

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特に実施していない。				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	
	全処理委託量	1.607 t	2.725 t	0.35 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.6 t	2.71 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.007 t	0.015 t	0.35 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t
(これまでに実施した取組) 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。					

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃油	
	全処理委託量	1 t	2.5 t	0.3 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1 t	2 t	0.1 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	0.5 t	0.2 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)					
優良認定処理業者を選定する。 委託先処理業者には定期的に実施確認を実施する。					
※事務処理欄					